

“創立 25 周年記念特集”

目 次

□巻頭言 機械化建設の 25 年……………飯 田 房太郎 / 1

“最近の機械化施工の歩み”…………… / 3

土工工事……………伊 丹 康 夫 / 4

基礎工事……………吉 田 巖 / 9

トンネル工事……………石 川 正 夫 / 13

臨海工事と作業船……………藤 野 慎 吾 / 18

建築工事……………島 津 武 / 23

道路工事……………浅 井 新一郎 / 28

鉄道工事……………五十嵐 伊三郎 / 33

□随 想 “Practice & Theory”……………山 本 格 / 38

創立 25 周年記念式典・記念祝賀パーティの開催…………… / 41

J.C.M.A. 欧州建設機械化視察団報告…………… / 50

グラビヤ—ハノーバーメッセ & パリ・エキスポマット

□昭和 48 年度官公庁・建設業界で採用した新機種

建設省で採用した新機種……………田 中 康 之 / 60
大 城 忠 士

日本国有鉄道で採用した新機種……………五十嵐 伊三郎 / 69

日本鉄道建設公団で採用した新機種……………桜 沢 昇 / 72

日本道路公団で採用した新機種……………秋 田 勲 / 77

第 25 回定時総会開催…………… / 79

□文献調査

湾曲斜面コンクリート舗装用
スリップフォームペーパー……………広 報 部 会 / 88
文献調査委員会

湖底の凍結によって立坑の掘下りが可能となる……………広 報 部 会 / 89
文献調査委員会

□統 計

建設工事受注額, 建設機械受注額,
および建設機械卸売価格の推移……………調 査 部 会 / 90

行 事 一 覧…………… / 91

編 集 後 記……………(中野・塚原・大蝶) / 92

◀表紙写真説明▶

三井 RS 95 AL ロッカーショベル

三井造船株式会社

表紙の写真は水底トンネル世界最長の青函トンネルの本州（竜飛）から北海道をめがけて掘進中の作業坑の最先端（海底部）でずり積みを行なっている RS 95 AL 形ロッカーショベルである。

本機は性能的にもっとも安定している圧気動レール式オーバーショット形で、新幹線鉄道の新丹那、六甲、新関門等のトンネルで活躍した RS 85 形に加えて RS シリーズの大形として開発された 8 m³ 鉤車に積込む大断面トンネル掘進ずり積み機である。すでに青函本坑、東北、上越新幹線をはじめ道路トンネル、ダム導水路等で稼働している。

バケット容量：0.6 m³

エアモータ：走行用 25 PS, バケット用 25 PS, コンベヤ用 11 PS, スイング用 8 PS

重 量：12,900 kg